

線型代数学演習 B

No. 4 問題 (計量ベクトル空間その1)

- 1 (1) \mathbb{R}^2 を標準内積に関して計量ベクトル空間と見なす. このとき \mathbb{R}^2 の正規直交基底でベクトル $\begin{pmatrix} \frac{2}{3} \\ -\frac{\sqrt{5}}{3} \end{pmatrix}$ を含むものを全て求めよ.
- (2) \mathbb{C}^2 を標準内積に関して計量ベクトル空間と見なす. このとき \mathbb{C}^2 の正規直交基底でベクトル $\begin{pmatrix} \frac{\sqrt{7}}{4} \\ -\frac{3i}{4} \end{pmatrix}$ を含むものを全て求めよ. 但し i は虚数単位とする.

- 2 以下の写像は内積となるかどうか答えよ. (3) については a の値によって場合分けせよ.

- (1) $\mathbb{R}^2 \times \mathbb{R}^2$ から \mathbb{R} への写像

$$(\mathbf{x}, \mathbf{y}) := x_1y_1 + x_1y_2 + x_2y_2, \quad \mathbf{x} = \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \end{pmatrix}, \mathbf{y} = \begin{pmatrix} y_1 \\ y_2 \end{pmatrix}.$$

- (2) $\mathbb{C}^2 \times \mathbb{C}^2$ から \mathbb{C} への写像

$$(\mathbf{w}, \mathbf{z}) := w_1\bar{z}_2 + w_2\bar{z}_1, \quad \mathbf{w} = \begin{pmatrix} w_1 \\ w_2 \end{pmatrix}, \mathbf{z} = \begin{pmatrix} z_1 \\ z_2 \end{pmatrix}.$$

- (3) $a \in \mathbb{R}$ を定数として, $\mathbb{R}^2 \times \mathbb{R}^2$ から \mathbb{R} への写像

$$(\mathbf{x}, \mathbf{y}) := x_1y_1 + ax_1y_2 + ax_2y_1 + x_2y_2, \quad \mathbf{x} = \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \end{pmatrix}, \mathbf{y} = \begin{pmatrix} y_1 \\ y_2 \end{pmatrix}.$$

- 3 V を \mathbb{C} 上の計量ベクトル空間とし, (\mathbf{x}, \mathbf{y}) によって $\mathbf{x}, \mathbf{y} \in V$ の内積を表すことにする. また $\|\mathbf{x}\|$ を \mathbf{x} のノルム (長さ), すなわち $\|\mathbf{x}\| := \sqrt{(\mathbf{x}, \mathbf{x})}$ とする.

- (1) $\mathbf{a}_1, \dots, \mathbf{a}_n$ が V の 正規直交基底 であるとき, 任意の $\mathbf{x} \in V$ に対して以下の等式が成り立つことを証明せよ.

$$\|\mathbf{x}\|^2 = \sum_{j=1}^n |(\mathbf{x}, \mathbf{a}_j)|^2.$$

ヒント: まず \mathbf{x} を \mathbf{a}_j の線形結合で表し, その係数を求めよ.

- (2) $\mathbf{b}_1, \dots, \mathbf{b}_m$ が V の 正規直交系 であるとき, 任意の $\mathbf{x} \in V$ に対して以下の不等式が成り立つことを証明せよ.

$$\|\mathbf{x}\|^2 \geq \sum_{j=1}^m |(\mathbf{x}, \mathbf{b}_j)|^2. \quad (*)$$

また (*) において, 任意の \mathbf{x} に対して等号が成り立つための必要十分条件は $\mathbf{b}_1, \dots, \mathbf{b}_m$ が V の正規直交基底であることを示せ. ヒント: $\mathbf{x} - \sum_{j=1}^m (\mathbf{x}, \mathbf{b}_j)\mathbf{b}_j$ の長さに注目せよ.